

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



## 土浦平和の会

ニュースNo. 218 2010年 4月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

## 核兵器廃絶署名を進める土浦地域連絡会

### 3月統一行動（第6回）土浦駅で3月14日（土）

NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議にむけての「核兵器廃絶国際署名」3月は14日（日）午後土浦駅ペDESTリアンデッキで行ないました。当日はあいにく行事が重なっていたため参加者は7人でしたが、113筆を集めることができました。平和の会は合計で660筆になりましたが、目標の1400筆にはまだ遥かに及びません。

新婦人の会はその後市長、市会議長、教育長をはじめ市職員の署名を含めて2000筆余筆を達成しました。土浦地域連絡会として報告されている数は3月14日現在で3、254筆になりました。

4月末には代表団がニューヨークにむけて出発するので、連絡会としての統一署名は終了しますが、今後は各団体の可能なルートで代表団に届けることとしました。最後までがんばって目標を超過達成したいものです。

## 阿見町予科練平和記念館見学

平和の会理事会は3月16日理事会の後、午後から阿見町の予科練平和記念館を見学しました。案内リーフには「今と変わらぬ少年たちの青春群像を通して 命の尊さと平和への認識を深める」とありますが見学者の感想は・・・

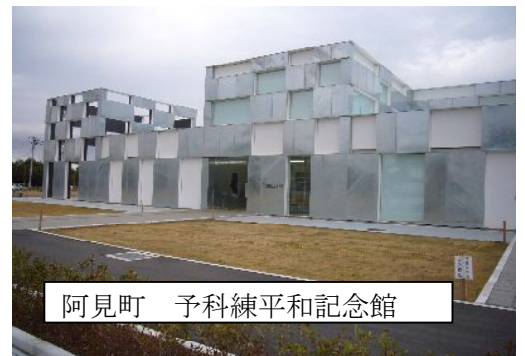
### 雑 感

A・Ishii

3月16日、平和の会理事会で阿見町にできた「予科練平和記念館」を訪れた。自衛隊武器学校の東側の湿地を埋め立てて造られたそれは、霞ヶ浦湖畔の広々とした敷地にひょんと、決して十数億円もかけられたとはとても思えぬ粗末にも映る形で建っていた。

入場無料の先入観は見事に裏切れ、大人500円を支払っての見学となった。平屋建ての7つの展示ブロックはそれぞれ、「入隊」「訓練」「心情」「飛翔」「交流」「窮迫」「特攻」と名づけられ、分離した各室を順に進むこととなる。

写真とビデオ主体の展示を見終えた後の感想は、はっきり言って、何も残らない。いったいこの施設は何を見学者に訴えたいのであろうか。かつて鹿児島県の「知覧特攻平和会館」を見たときには、強烈に、見学途中で体が凍りつき、外へ出たくなるほどに、「空しさ」と「非戦」「反戦」の情に駆られたが、今回は何も心が動かなかった。その違いはどこにあるのか。阿見の施設は展示テーマが明確でなく、テーマを深める資料があまりにも不足していることにあるのではないかと一人推測した。



阿見町 予科練平和記念館

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122  
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます  
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

## 高校生たちが発掘した戦争遺跡

### 戦後62年目に明らかになった特攻隊の記録

谷田部航空隊の名前は知られていたけれども、その実態は知られていません。終戦とともに消えていってしまったのです。

つくば工科高校の放送委員会は学校の近くにある「飛行場橋」が矢田部航空隊と関係があるかもしれないと考えて調査チームを作り取材を始めました。調査の成果をもとに学校創立80周年の記念行事にあわせて「矢田部海軍航空隊の記録」というDVDを作成しました。

いばらきコープのピースアクション2010が3月6日コープ土浦店において開催されましたが、そのとき同校教諭根崎孝志先生によってその内容が発表されました。資料としてはその概略が同校の図書日より「尚友」に収められています。ここにその一部を紹介します。

### 「霞ヶ浦航空隊矢田部分遣隊」として開設

中国戦線の拡大とともに飛行場の増設が必要となり、最初は昭和13年（1938年）霞ヶ浦航空隊の分遣隊として開設され、翌14年には谷田部航空隊として独立した。各地に航空隊が開設されて搭乗員の養成の必要性が高まり第11連合航空隊傘下に入った。初期には練習機（赤トンボ）の訓練であったが、昭和19年（1944年）から特攻要員による実用機（ゼロ戦）の訓練ばかりになった。

### 昭和20年（1945年）からは特攻要員の訓練

沖縄戦の直前の2月には特攻要員の希望者募集があり54名が選ばれた。わずか1ヶ月の訓練で4月初には鹿児島鹿屋航空隊に転進、4月14日には第1昭和隊として10人の特攻隊員が米軍機動艦隊に突入し、第7昭和隊まで35人突入のほか3名が戦死、さらに沖縄戦終結の直前の第1神雷爆戦隊2名が散華したという。特攻隊員54名中生存者は14名だけであった。

終戦直前には本土決戦に備えた特攻隊「神誅隊」を編成し、首都防衛の重要な拠点としてゼロ戦104機、ゼロ式陸上練習機57機、93中間練習機（赤トンボ）9機、90機練2機など合計172機を保有して米軍の本土進攻に備える最大の特攻基地となっていた。現在では当時を偲ばせるものはほとんど残っていないが矢田部神社が昔のままの姿で祭られていると言う。

いばらきコープのピースアクション2010（3月6日コープ土浦店）講演から

**土浦平和の会総会は5月29日です 詳細は5月ニュースで**

#### 活動ごよみ

3・10 日本高齢者大会土浦実行委員会	4・17 日本高齢者大会土浦実行委員会
3・25 日本高齢者大会土浦事務局会議	4・20 平和の会理事会
4・9 ニコエコ実行委員会	4・25 憲法九条土浦の会5周年のつどい
4・7 日本高齢者大会土浦事務局会議	

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122  
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください